

季刊
秋号



博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM
QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

秋の企画展

130

戊辰戦争150年

「日本のわざと美」展

—重要無形文化財とそれを支える人々—

福島県立博物館

戊辰戦争150年



白虎隊自刃の図（部分）個人蔵

美

展

美／展

わ
わざと

日本の

日本の

重要無形文化財とそれを支える人々

秋の企画展 1

福島県立博物館・新潟県立歴史博物館・仙台市博物館共同企画展覧会

戊辰戦争
150年

奥越出兵図屏風 個人蔵



白虎隊奮戦の図 個人蔵

戊辰戦争から150年。
先人たちは、何を選択し、のこしたのか。

この展覧会は、決して華やかではありません。しかし200点を超える展示資料の中で、錦旗のコナーは実際皆さんの目をひくことでしょう。「官軍」の象徴として錦旗が示された時、当時の人々がどのように感じたのか、実際に会場で確かめていただきたいと思います。

京都守護職となった会津藩主・松平容保は、諸藩の思惑が渦巻く幕末の京都で公武間の調整につとめ、孝明天皇から信頼を得ました。しかし天皇崩御の後、一転して錦旗を掲げられ、「朝敵」とされました。会津藩は謝罪・嘆願を働きかけますが、新政府側は受け容れませんでした。これにより、東北や越後の諸藩を広範囲に巻き込み、戊辰戦争の戦渦は拡大していきます。

本展は、同盟を組んで戦うことを余儀なくされた東北・越後の視点から、戊辰戦争を紹介します。当時の人々の記録や関連資料を丹念に集め、150年前に何が起きていたのかを考える機会としました。新潟県立歴史博物館・仙台市博物館との共同企画により実現した本展。三館で中核となる資料を巡回させながら、会場ごとにそれぞれ豊富な地域資料を交えてご紹介します。どの会場も特色がありますので、すでに新潟会場をご覧いた方も、仙台会場をご覧になる予定の方も、ぜひご来場ください。

(歴史分野：阿部綾子)



錦旗(蜀江錦日像金)
東京国立博物館蔵
Image : TNM Image Archives



奥羽越列藩同盟旗 宮坂考古館蔵



会津藩旗 個人蔵



松平喜徳写真
個人蔵/福島県立博物館寄託



源ちゃん

会津藩士・渋谷源蔵(一八三九〜一九〇九、通称源ちゃん)が展覧会の案内役をつとめています。源ちゃんは戊辰戦争当時三〇歳。越後方面を転戦した経験を持つ、実在の藩士です。晩年、自身の伝記や戊辰戦争時の会津藩の立場を記した書物をまとめました。無名に近い会津藩士ですが、当時の貴重な情報を豊富に伝えてくれています。本展ではこれらの記録から抜き出して現代語訳した「源蔵一言解説」を随所に配置しています。源ちゃんのイラスト入りの解説を追えば、戊辰戦争をよりリアルに感じることができます。

おすすめポイント

展覧会を当館と共同企画した仙台市博物館・新潟県立歴史博物館の学芸員を招き、それぞれ戊辰戦争当時の仙台藩や越後諸藩の事情を紹介する講演会を企画しています。また当館学芸員による展示解説会も予定しています。詳細は、裏表紙のインフォメーションをご覧ください。

イベント

前期ではご覧頂けなかった、奥羽越列藩同盟旗(白地)や奥越出兵図屏風、錦絵などの展示がはじまりました。

9月26日(水)から後期展示になりました

会 期：9月1日(土)～10月14日(日)
休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
会 場：福島県立博物館 企画展示室
観覧時間：9：30～17：00 (入館は16：30まで)

観 覧 料：一般・大学生 800円(20名以上の団体：640円)
高校生以下 無料
主 催：福島県立博物館・新潟県立歴史博物館・仙台市博物館
協 力：日本通運株式会社

秋の企画展2

「日本のわざと美」展



室瀬和美《蒔絵螺鈿八稜箱「彩光」》
平成12年 文化庁蔵



荒川豊蔵《志野茶碗》
昭和27年 東京国立近代美術館蔵



松田権六《蒔絵竹林文箱》
昭和40年 東京国立近代美術館蔵



長野埜志《肩衝釜》
昭和47年 京都国立近代美術館蔵

—重要無形文化財とそれを支える人々—
手わざの地・会津で出会う、
人間国宝の美、美を支える技。

本展では、文化庁や全国の美術館・博物館の所蔵品により、「人間国宝」と呼ばれる重要無形文化財の保持者や保持団体の「わざ」と作品の「美」をご紹介します。

伝統的な工芸技術を高度に受け継ぎつつ、さらに新たな技法・技術や表現を追求し、豊かな感性を注ぎこんだ逸品は、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙、截金、撥鏤など、多種多様。それは、日本の伝統工芸の豊かさの現れです。

また、伝統工芸に関わる道具や材料を製作・生産する選定保存技術もあわせて展示。日本の風土の中で大切に伝えられてきた技の数々は、自然との向き合い方をあらためて教えてくれることでしょう。

伝統工芸の土地でもある会津で、日本各地のわざと美をご堪能ください。

(美術分野：小林めぐみ)

全人間国宝の作品、一挙公開

本展では、全ての重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）と保持団体の作品、それを支える技術を展示します。多数公開のため、前期・後期の展示替を行います。全国各地の優れた伝統工芸をご覧ください。またとない機会です。お見逃しなくご来場ください。

イベント

会期中、いわゆる人間国宝とは何か？を、蒔絵の分野で重要無形文化財保持者の認定を受けた漆芸家の室瀬和美さんと文化庁行政に詳しい群馬県立館林美術館長の佐々木正直さんにお聞きする講演会や、福島ともゆかりの深い沖繩の芭蕉布、伊勢の型紙彫刻の技術を見て、体験できる実演・ワークショップ、文化庁担当者によるトークなどを行います。詳細は、裏表紙のインフォメーションをご覧ください。



昭和村からむし生産技術保存協会《からむし》
昭和村からむし生産技術保存協会蔵



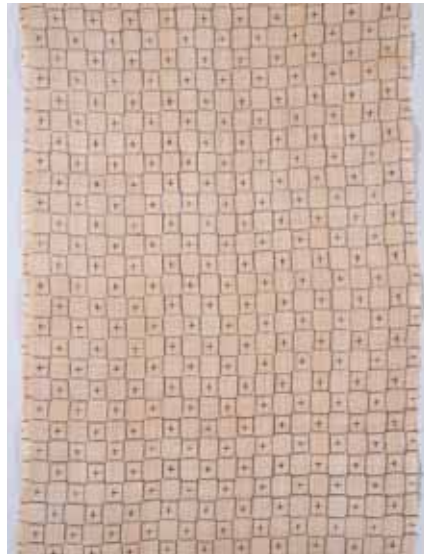
伊勢型紙技術保存会《道具彫〜わりもの・分銅〜》
平成24年 文化庁蔵



富本憲吉《色絵金銀彩四弁花文八角飾箱》
昭和30年 東京国立近代美術館



八世泉清吉《漆刷毛》
文化庁蔵



喜如嘉の芭蕉布保存会《芭蕉布着尺「ハチジョーハチ」》
平成25年 文化庁蔵



志村ふくみ《細織中振「雛げし」》
平成22年 文化庁蔵

その他の主な展示作品

【色 絵 磁 器】	十三代今泉今右衛門《色絵吹重ね珠樹草花文鉢》	平成13年	文化庁蔵
【備 前 焼】	金重陶陽《備前緋纏平水指》	昭和35年	東京国立近代美術館蔵
【民 芸 陶 器】	浜田庄司《海鼠釉黒流描大鉢》	昭和37年	京都国立近代美術館蔵
【芭 蕉 布】	平良敏子《芭蕉布衣裳「変わり八十八」》	平成26年	文化庁蔵
【型 絵 染】	芹沢銈介《木綿地藍染いろは文着物》	昭和36年	東京国立近代美術館蔵
【時 絵】	田口善国《日蝕時絵飾箱》	昭和38年	東京国立近代美術館蔵
【螺 鈿】	北村昭齋《瑞鳥唐花文螺鈿箱》	平成16年	文化庁蔵
【彫 金】	海野清《鸚鵡小禽葡萄文箱》	昭和3年	東京国立博物館蔵
【日 本 刀】	宮入行平《太刀 銘 宮入昭平作》	昭和37年	東京国立博物館蔵
【木 工 芸】	黒田辰秋《栃杓拭漆手箱》	昭和45年	東京国立近代美術館蔵
【衣 裳 人 形】	平田郷陽《採集》	昭和38年	吉徳資料室蔵
【柿右衛門(濁手)】	柿右衛門製陶技術保存会《濁手葡萄文壺》	平成15年	文化庁蔵
【津 軽 塗】	津軽塗技術保存会《八角五段重箱「お祝い」》	平成25-27年	津軽塗技術保存会蔵

など。作品203点、資料15点。

会 期：平成30年10月27日(土)～12月2日(日)
*会期中展示替を行います。
(前期：10/27～11/11、後期：11/13～12/2)

休 館 日：毎週月曜日

会 場：福島県立博物館 企画展示室

観覧時間：9：30～17：00 (入館は16：30まで)

観 覧 料：一般・大学生 800円(20名以上の団体：640円)
高校生以下 無料

主 催：文化庁・福島県教育委員会・福島県立博物館
特別協力：東京国立近代美術館

マ展
テマ
紹介

うるわしのうるしのうつわ 土の中から

会 期：8月4日(土)～平成31年5月19日(日)
会 場：常設展部門展示室 考古
観覧料：常設展観覧料

ウルシの木の学名「Toxicodendron」は「毒の木」の意で、これは「うるしかぶれ」に、日本語の「うるし」は塗布された漆独特のツヤと光沢や美しさを示す「うるわし(潤・麗)」に由来するともいわれます。この対照的な言葉は、「うるし」の特性と、人の関係性を良く表しています。

「毒」ある漆を有用な塗料として利用し「うるわしのうつわ」を得るには、人の手によるウルシ林の維持管理、そして漆の採取・精製・塗布までの工程を担う知識や技術が不可欠です。この「うるし文化」は縄文時代から今日まで連続と続いていることが、土の中つまり遺跡の出土品からわかります。

三島町の荒屋敷遺跡では縄文時代終末期の漆塗り製品と漆塗りの道具類が出土しています。これらを含む出土品が本年3月の国文化審議会重要文化財の指定が答申されました。本展では本遺跡出土品を中心に、県内の縄文時代と、「会津塗」にいたる弥生時代からの会津出土の「うるしのうつわ」を紹介いたします。

(考古分野：高橋満)



漆塗り土器 鉢 (三島町 荒屋敷遺跡)
縄文時代晩期



マ展
テマ
紹介

詩人が見つけたふくしま — 吉増剛造が出会った会津、漆

会 期：10月27日(土)～12月9日(日)
会 場：常設展部門展示室 歴史美術
観覧料：常設展観覧料

時代の先端で表現を切り開き多彩な活動を展開する詩人・吉増剛造の作品、関連資料を福島県内の文学館・美術館・博物館の3館で展示します。吉増氏は2010年に開催された「会津・漆の芸術祭」(主催：福島県立博物館)に参加して以来、氏が「大災厄」と呼ぶ東日本大震災後の福島に関わり続けています。

本事業では、吉増剛造の表現世界を植谷島尾記念文学資料館(南相馬市)、はじまりの美術館(猪苗代町)、福島県立博物館で開催、吉増氏の福島県での足跡を辿ります。当館では、吉増氏が魅せられた三島町荒屋敷遺跡出土の漆塗糸玉、2011年前後の原稿、取材メモ、篠原誠司氏(足利市立美術館学芸員、「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」担当)の写真作品を展示します。

(美術分野：川延安直)

関連イベント

館長講座特別編 東北の文学者たち第8回

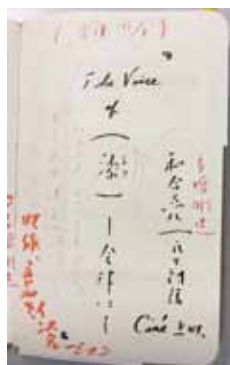
「ヤポネシアとは鳥尾敏雄をめぐる」

日 時：11月15日(木) 13：30～14：30

会 場：福島県立博物館講堂

講 師：赤坂憲雄(当館館長)

特別講師：吉増剛造氏(詩人)



ト
ン
ポ
ー
イ
レ
ポ
ー
ミ
ュ
ー
ジ
ア
ム
イ
ベ
ン
ト
ミ
ュ
ー
ジ
ア
ム
イ
ベ
ン
ト
ナ
イ
ト
ミ
ュ
ー
ジ
ア
ム

日時：平成30年8月18日(土)
会場：エントランスホール・企画展示室・常設展示室

夏休み恒例となりました、ナイトミュージアムを今年も開催しました。71名の参加者とともに夜の博物館を探検しました。

今回は企画展「美しき刃たち」とコラボ。刀剣が輝く企画展には、土方歳三(?)も現れました。常設展では、竪穴住居の中、板碑の丘、木地小屋、木炭バスと色々な場所で見つけていた学芸員たちを見つけていきました。特に竪穴住居の中の女性には驚いたのではないのでしょうか。最後



企画展とコラボするのは初めての試みでしたが、暗い中で見る刀剣にも魅力がありました。暗い中で見ただけだたようです。県立博物館では、次のミュージアムイベントとして12月16日(日)にクリスマスコンサートを実施します。こちらもぜひご来場ください。
(担当：猪瀬弘瑛)

冬の特集展
震災遺産を考える

会期：平成31年2月16日(土)～4月11日(木)
会場：企画展示室
観覧料：無料

震災で壊れてしまったモノだけではなく、震災の影響で生み出されたモノたちを震災遺産として収集しています。県博がいままでに集めた被災したモノは、その地域の記憶と経験を伝える大切な県博の資料となっています。特集展では、このもの言わぬ資料たちに耳を傾けたいと思います。今年度も被災地域と連携して、収集してきた資料たちの展示や、被災地域のことを紹介したいと考えています。ぜひみなさまから、改めて自分自身の身の回りの備えと、過去を見つめ、未来を語り合う機会としてこの特集展をごらんいただければと思います。
2020年には、東京でのオリンピック・パラリンピック開催もあり多くの人がたがわれわれの国へ訪ねてくる機会となります。この年度の3月は、東日本大震災から10年目であり、ひとつの節目を迎えます。10年目に向けて特集展も真摯に取り組んでいきたいと考えています。
(震災遺産保全チーム：筑波匡介)



昨年度の展示の様子

Information

企画展 企画展示室 ★は要申込

戊辰戦争150年

10月14日(日)
料金：一般・大学生800円、高校生以下無料

■記念講演会申込不要、先着200名、無料、講堂

「北越戊辰戦争と会津藩」

10月14日(日)13時30分～15時
講師：田邊幹氏(新潟県立歴史博物館主任研究員)

■展示解説会申込不要企画展チケットもしくは年間パスポート
10月6日(土)、13日(土)いずれも13時30分～14時30分
講師：当館学芸員

「日本のわざと美展」

重要無形文化財とそれを支える人々

10月27日(土)～12月2日(日)
料金：一般・大学生800円、高校生以下無料

■記念講演会申込不要、無料、講堂

「人間国宝とは何か？」

10月28日(日)13時30分～15時30分
講師：室瀬和美氏(漆塗師)・重要無形文化財保持者(人間国宝)
佐々木正直氏(群馬県立館林美術館長)

■実演

「芭蕉布の芋績み」(申込不要、体験学習室)

11月3日(土)・祝10時～12時

「伊勢型紙の彫り」(申込不要、体験学習室)

12月2日(日)10時～12時
講師：伊勢型紙技術保存会のみなさん

■ワークショップ

★「伝統工芸の技を体験1 芭蕉布の糸つくり」

(要申込、先着10名、3000円、体験学習室)
11月3日(土)・祝13時30分～15時30分

★「伝統工芸の技を体験2 伊勢型紙で年賀状つくり」

(要申込、先着20名、2500円、体験学習室)
12月2日(日)13時30分～16時30分

講師：伊勢型紙技術保存会のみなさん

■展示解説会申込不要、要企画展チケットもしくは年間パスポート
10月27日(土)10時～11時
11月11日(日)15時～16時
講師：文化庁担当官

テーマ展 部門展示室・展示ロビー 常設展示料金

魚の化石展

10月27日(土)～12月2日(日)
展示ロビー

詩人が見つけたふくしま

吉増剛造が出会った会津、漆
部門展示室歴史・美術
10月27日(土)～12月9日(日)

けんぱくの宝2018 漆工芸名品展

部門展示室歴史・美術
12月22日(土)～翌年2月3日(日)

うるわしのうるしのうつわ 土の中から
部門展示室考古
翌年5月19日(日)

ポイント展 総合・部門展示室 常設展示料金

黒船来航を伝える農具

10月24日(水)

福島のかげし・東北のかげし

10月26日(金)～12月12日(水)

困窮裏のまわりの道具たち

12月14日(金)～翌年2月28日(木)

日本遺産!会津三十三観音と御詠歌

12月15日(土)～翌年3月31日(日)

日本遺産!安積疏水ができるまで

12月15日(土)～翌年3月31日(日)

講座・実演他 ★は要申込

【館長講座】

「東北の文学者たち」(申込不要、無料、講堂)

⑦「寺山修司」10月18日(木)13時30分～14時30分

⑧「島尾敏雄」11月15日(木)13時30分～14時30分

⑨「太宰 治」12月13日(木)13時30分～14時30分

講師：赤坂憲雄(当館館長)

特別講師：吉増剛造氏(詩人)⑨のみ

【考古学講座】

「縄文土器の野焼き」

(申込は締め切りしました・会津若松市子ども森)
10月7日(日)10時～15時
※雨天の場合は10月20日(土)に延期。

講師：考古分野学芸員

★「会津大塚山古墳を歩く」

(要申込、先着20名、50円、視聴覚室・会津大塚山古墳)
11月3日(土)・祝10時～15時
講師：平澤慎(当館学芸員)

【自然史講座】

★「化石をさがそう」

(要申込、先着40名、100円、埴町西河内)
※雨天の場合翌週に順延
10月13日(土)8時30分～17時45分

★「化石標本をつくらう」

(要申込、前日の化石をさがそう)参加者対象、無料、実習室
※前日の化石をさがそうが雨天の場合翌週に順延
10月14日(日)13時30分～15時30分

★「鶴ヶ城の野鳥」

(要申込、先着30名、100円、視聴覚室・鶴ヶ城公園)
11月11日(日)13時30分～15時30分

講師：古川裕司氏(野鳥研究家)

【民俗講座】

民俗学特別講演会申込不要、無料、講堂

「厄を祓う人形-会津の山と境の神-」
11月17日(土)13時30分～14時30分

講師：石本敏也氏(聖徳太子学教授)

おもしろ民俗学ゼミナール会津編申込不要、無料、講堂

①「今日はカラコリ、明日は無尽」会津の人つきあい」
12月15日(土)13時30分～14時30分

講師：大里正樹(当館学芸員)

★「実技講座」

★「縄文時代の編み物を再現しよう」

(要申込、無料、先着15名、実習室)
11月10日(土)10時～15時
講師：本間一恵氏(ハスケタリー作家)

★「漆を染しむワークショップ1 漆絵を描こう」

(要申込、先着15名、3000円、実習室)
11月24日(土)13時30分～15時30分

講師：会津漆器協同組合青年部のみなさん

★「漆を染しむワークショップ2 漆スプレーをつくろう」

(要申込、先着各回5名、2000円、エントランスホール)
11月24日(土)①10時00分②10時40分③11時20分

④14時00分⑤14時40分⑥15時20分
講師：会津漆器協同組合青年部のみなさん

【ミュージアムエデュケーター事業】

「二王大王のギヤラリトーク」

「展示資料で見るふくしまの暮らし」
申込要、要企画展チケットもしくは年間パスポート、総合展示室

⑦「願」10月21日(日)11時～12時 13時～14時

⑧「子ども」11月11日(日)11時～12時 13時～14時

⑨「道具」12月9日(日)11時～12時 13時～14時

講師：荒木隆(当館学芸員)

「ティータイム考古学」考古学を読む

(申込不要、無料、レストラン)

④「わたしの茶碗・わたしの箸」
10月28日(日)13時～14時

⑤「世界最古のカードシステム」
12月23日(日)・祝13時～14時

講師：荒木隆(当館学芸員)

石城・石背建園1300年記念連続講演会
シリーズ「ふくしまの新しい古代像を考える」

③「平安時代のふくしまは貞観大地震を
どう乗り越えたのか?」
-貞観大地震復興政策としての寺院建立-

11月25日(日)13時30分～15時
(申込不要、無料、講堂)
講師：荒木隆(当館学芸員)

【読み聞かせ】
「博物館でも読み聞かせ」(申込不要、無料、体験学習室)
10月13日(土)・11月10日(土)
各11時～11時30分、14時～14時30分

講師：読み聞かせグループのみなさん

★「親子でやすらぐ子守唄コンサート」

(要申込、無料、講堂)
10月17日(水)10時～11時30分

出演：西館好子氏他

「クリスマスコンサート」
(申込不要、無料、エントランスホール)
12月16日(日)13時30分

出演：SIDEZ(ハライドあいつ)

*要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集
を開始します(異なる場合もあります)のでご確認ください。
電話もしくは受付カウンターでお申込み
ください。
*その他、行事等の詳細に関しましては、月行事予定
やホームページをご覧ください。

10～12月の休館日
10月1日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)
29日(月)
11月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)
12月3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)
25日(火)・28日(金)・29日(土)・30日(日)
31日(月)

【お問い合わせ先】福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町1-25
Tel 0242-28-6000・Fax 0242-28-5986
Mail general-museum@fcs.ed.jp